

平和憲法の改悪に反対する要請署名

<要請の趣旨>

日本国憲法は、悲惨な戦争で多くの犠牲者を出した反省から、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないよう、平和と民主主義を確立する願いを込めて生み出されました。

戦後 70 年の節目の年、政府は憲法の解釈変更による集団的自衛権の行使容認に続き、戦争ができる法律の整備を進めています。その先には改憲が待ち受けています。改正論者からも疑問が出され、憲法の意義を改めて見つめ直そうとする声も少なくありません。日本が戦争に巻き込まれていくのではないかと懸念する人が増えています。

不戦はすべての人びとの願いです。二度と戦争を起こさないために、平和憲法を守り、国際平和を実現していくことこそ日本に求められている役割です。軍事力に頼る国際問題・紛争の解決では憎しみの連鎖を生み出すばかりです。粘り強く対話を重ね、様々な外交手段を用い、国際協調などの枠組みの中で解決策を探っていくことこそが最善の道なのです。

戦後の日本の平和と繁栄を支えてきた日本国憲法には、国際的に強いメッセージを発する力が備わっていると確信します。平和憲法を捨て去る理由はありません。

私たちは、平和憲法の改悪に反対します。

<要請事項>

憲法 9 条の改悪を行わないでください。

氏	名	住	所

この署名は、すべての政党・会派の国会・地方議員、首長などへ提出し要請に活用します。
(個人情報保護の立場から、署名の住所・氏名を他の目的に使用することはありません)

取り扱い団体名

この署名は憲法労組連が呼び掛けています

憲法改悪反対労組連絡会 構成単産・団体

映画演劇関連産業労働組合共闘会議／航空労組連絡会／全国建設労働組合総連合／全国農業協同組合労働組合連合会／全国大学高専教職員組合／全日本港湾労働組合／全日本倉庫運輸労働組合同盟／全日本損害保険労働組合／日本出版労働組合連合会／日本私立大学教職員組合連合／日本新聞労働組合連合／
(50音順)